

第29回日空衛全国会議報告



一般社団法人 東北空調衛生工事業協会
事務局長 鍵 茂

令和6年10月17日（木）、神奈川県横浜市「横浜ロイヤルパークホテル」で、「第29回日空衛全国会議」が開催され、全国から約430人が集い、建築設備業界のこれからを主題とした講演がありました。尚、式次第は次の通りです。

式 次 第

1. 会長挨拶 (一社) 日本空調衛生工事業協会 会 長 藤沢 一郎
2. 来賓挨拶 国土交通省 不動産・建設経済局長 平田 研 様
3. 講演一1
演題 「人口減少日本で起きること～建設設備業のこれから」
講師 ジャーナリスト 河合 雅司 様
4. 講演一2
演題 「SDG s を活用した地域中小企業による新たな需要開拓」
講師 株式会社大川印刷 代表取締役社長 大川 哲郎 様
5. 対談
演題 異業種企業に学ぶ「ローカルの『味方』は世界に通ず」
～横浜に生まれ116年 崎陽軒4代目の挑戦
株式会社崎陽軒 代表取締役社長 野並 晃 様
(一社) 神奈川県空調衛生工事業協会 会長 有井 清 様





開会にあたり藤澤会長は4月から始まった時間外労働の上限規制や、深刻化する担い手不足を念頭に、「同じ後工程を担う電設協と共に、発注者やゼネコン団体などに4週8閉所の拡大、適正工期の確保、工程の順守などを引き続き共同で要請していく。将来の担い手を確保するため、働き方改革の深化も必要不可欠である。今年度末には新たな行動計画を策定し、働き方改革を推進していく」と語られました。更に、空調衛生工事業として、カーボンニュートラルに貢献する必要性にも言及し、「今回新たに公表した中期ビジョン『日空衛2025』で、これを第一に取り組む課題とした。今年5月の総会で公表した『空調衛生工事業のCN行動計画』では、自社のCO2排出量の算定、削減目標の設定とともに、省エネ設備の設計提案を積極的に行うことにしている。会員各位の従来に増しての取り組みを期待している」と述べられました。

その後、来賓を代表して国土交通省の平田研不動産・建設経済局長は、6月に成立した第3次担い手3法の趣旨を説明したうえで、「建設業が持続性を高め、一層発展できるよう、官民一体となった取り組みへの力添えをお願いする」と挨拶されました。

引き続き、基調講演が行われ、ジャーナリスト河合雅司様が登壇し、「人口減少日本で起きること～建設設備業のこれから」と題して講演がありました。

続いて株式会社大川印刷 代表取締役社長 大川哲郎様による「SDGsを活用した地域中小企業による新たな需要開拓」の講演がありました。冒頭「明日、あなたの会社がなくなったら、あなたのお客さんは本当に困りますか？」と問いかけられ、おおいに考えさせられました。又、会社として省エネに取り組む姿勢、デジタル化への支援、極め付きは印刷会社なのに「印刷しない印刷会社」つまり

1. 無駄な印刷はしない、させない
2. デジタルと紙の利活用の最適化を提案する会社
3. ペーパーレス、デジタル化を再エネ100でお手伝い

これらの取り組みに感銘を受けました。

次に株式会社崎陽軒 代表取締役社長 野並晃様と（一社）神奈川県空調衛生工事業協会 会長 有井清様により、異業種企業に学ぶ「ローカルの『味方』は世界に通ず」～横浜に生まれ116年崎陽軒 4代目の挑戦～と題して対談が行われました。

この後、日空衛から新たな中期ビジョン「日空衛2025」が公表されました。副題として「持続可能な社会への貢献、魅力ある空調衛生工事業への挑戦！」を掲げ、これに基づき、2050年カーボンニュートラルへの貢献や魅力ある空調衛生工事業への変革など、重点6項目を業界挙げて取り組むことを促されました。